



# 株主通信

平成27年3月期第2四半期報告書  
平成26年4月1日～平成26年9月30日



## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成27年3月期第2四半期の株主通信をお届けします。

当社グループは、当期も昨年に引き続き第五次中期経営計画「RISO Vision 16」の経営目標である「全世界での販路拡充と新規顧客の獲得」に取り組んでおります。

重点項目のひとつである海外事業の拡大については、海外の販売体制強化を行い徐々に成果が表れてまいりました。当上半期は、高速カラープリンター「オルフィス」の販売が欧州、アジアを中心に順調に推移し、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

生産面では、本年4月からタイ・アユタヤ県のロジャナ工場でデジタル印刷機「リソグラフ」の本体生産を開始。5月には筑波事業所での「オルフィス」の消耗品生産を開始しました。将来を見据えた生産体制の再構築を進めております。

当社は、平成27年1月1日をもって当社普通株式1株を2株に分割することを決議しました。これにより1単元あたりの投資金額を引き下げ、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図る所存です。

当社グループは今後とも独自の製品・サービスを通して、新たな価値を提供してまいります。株主の皆様には今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月  
代表取締役社長

羽山 明

## 第五次中期経営計画 RISO Vision 16

(平成25年4月1日～平成28年3月31日)

### 経営目標

個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、  
全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

### 数値目標

連結売上高: 860億円

連結営業利益: 70億円

ROE: 7%

(※前提とする為替レート:  
1米ドル90円、1ユーロ116円)

### 重点項目

- (1) 海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る
- (2) インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす
- (3) 孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する
- (4) 将来をにらみ新たな生産体制をつくる
- (5) 新規事業創出に挑戦する
- (6) 事業参画意識を高め、常にチャレンジする社風をつくる

## 平成27年3月期経営方針

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

- (1) 販路拡充と新規顧客の獲得を推進し、MIF(市場設置台数)増加に傾注する
- (2) 健全な海外販売体制を構築し、売上の拡大・利益の拡大を実現する
- (3) 生産拠点を再編成し、新たな生産体制に移行する
- (4) 新規事業創出に挑戦する
- (5) 社員の能力向上に焦点をあて、事業をけん引する社員の育成を行なう



## 事業概況(連結)

### 当第2四半期累計の業績概況

#### 海外でのインクジェット事業好調により 増収増益

当社グループは、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行することを中期的な経営方針に掲げて運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、印刷機器事業においてインクジェット事業を中心に海外の販売が伸びたことと為替の円安影響により、全体の売上が増加しました。営業利益は欧州での収益改善、円安が寄与し増益となりました。売上高は401億7百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は28億7千2百万円(同35.5%増)、経常利益は30億7千2百万円(同30.5%増)となりました。四半期純利益は遊休不動産売却等に伴う税金費用の調整により22億1千4百万円(同43.6%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1米ドル103.04円(前年同期比4.19円の円安)、1ユーロ138.92円(同8.92円の円安)となりました。

### 通期の見通し

#### インクジェット事業拡大を進め、 売上高860億円を目指す

当社グループの印刷機器事業におきましては、通期の売上高は海外でインクジェット事業の販路拡充、用途開拓が進み堅調に推移する見込みです。販売体制の強化と開発の加速を進めることにより、安定した収益基盤の構築を目指してまいります。

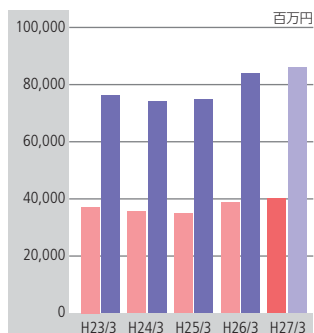
通期の売上高は860億円(前期比2.5%増)、営業利益は65億円(同1.3%減)、経常利益は65億5千万円(同8.9%減)、当期純利益は44億円(同3.9%減)を見込んでいます。

なお、通期業績見通しにおける為替レートは、1米ドル102円、1ユーロ138円を前提としております。

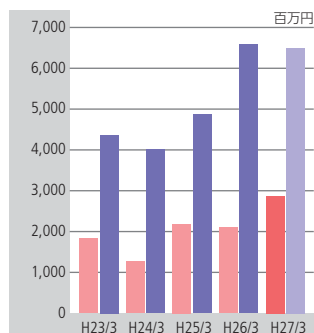
(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

## 連結業績ハイライト

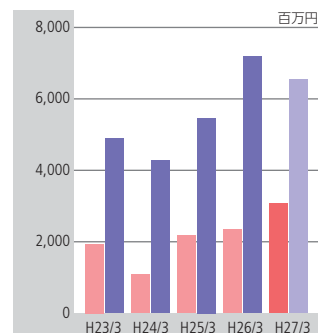
売上高



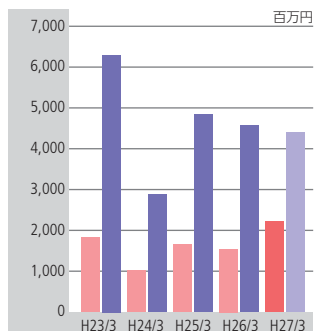
営業利益



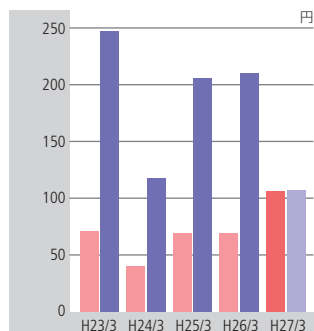
経常利益



当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



凡例

- 第2四半期累計
- 通期
- 通期見込

		平成23年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期	
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期見込
売上高	(百万円)	37,455	76,897	35,944	74,847	35,268	75,455	39,057	83,938	40,107	86,000
営業利益	(百万円)	1,848	4,406	1,276	4,050	2,203	4,910	2,119	6,588	2,872	6,500
経常利益	(百万円)	1,956	4,939	1,095	4,309	2,191	5,512	2,355	7,192	3,072	6,550
当期(四半期)純利益	(百万円)	1,812	6,288	1,010	2,886	1,644	4,827	1,542	4,578	2,214	4,400
1株当たり当期(四半期)純利益	(円)	70.83	247.45	40.39	117.40	69.66	205.80	69.11	210.13	106.31	106.91

(注)平成27年3月期の通期見込における1株当たり当期純利益については、平成27年1月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割が平成27年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は213円82銭となります。



# 財務諸表の概要(連結)

## 貸借対照表

### (資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成26年3月31日	平成26年9月30日
流動資産	47,780	46,834
●現金及び預金	12,899	12,121
受取手形及び売掛金	15,596	13,158
有価証券	2,876	4,738
たな卸資産	12,633	12,705
その他	4,112	4,491
貸倒引当金	△ 338	△ 381
固定資産	43,960	43,181
有形固定資産	32,742	32,903
●建物及び構築物	9,221	10,271
機械装置及び運搬具	829	855
土地	17,071	17,034
その他	5,620	4,741
無形固定資産	4,586	3,941
のれん	679	344
ソフトウェア	2,232	2,108
その他	1,674	1,488
投資その他の資産	6,631	6,337
投資有価証券	1,945	2,136
その他	4,747	4,254
貸倒引当金	△ 61	△ 54
資産合計	91,740	90,015

(注)当第2四半期の有形固定資産の減価償却累計額39,728百万円

#### POINT① 現金及び預金

自己株式の取得と配当金の支払により現金及び預金が減少しました。

### (負債の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成26年3月31日	平成26年9月30日
流動負債	21,819	20,894
支払手形及び買掛金	9,560	9,601
短期借入金	2,615	2,226
一年内返済予定の長期借入金	2	2
その他	9,641	9,063
固定負債	5,117	4,422
長期借入金	33	32
退職給付に係る負債	4,589	3,961
その他	495	428
負債合計	26,936	25,316

### (純資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成26年3月31日	平成26年9月30日
株主資本	65,426	64,518
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	42,467	43,427
●自己株式	△ 5,935	△ 7,802
その他の包括利益累計額	△ 622	180
その他有価証券評価差額金	343	529
為替換算調整勘定	△ 169	405
退職給付に係る調整累計額	△ 796	△ 753
純資産合計	64,804	64,699
負債純資産合計	91,740	90,015

#### POINT② 建物及び構築物

タイ・アユタヤ県のロジアナ工場の建設費用及び筑波工場の改修費用を計上しました。

#### POINT③ 自己株式

当上半期は54万2千株(18億6千6百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。  
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
<b>売上高</b>	39,057	40,107
印刷機器事業	38,310	39,388
日本	22,807	22,442
米州	2,877	2,780
欧州	7,365	8,433
アジア	5,260	5,731
不動産その他事業	746	718
売上原価	17,077	16,737
売上総利益	21,979	23,369
販売費及び一般管理費	19,860	20,497
<b>営業利益</b>	2,119	2,872
営業外収益	385	260
営業外費用	149	60
<b>経常利益</b>	2,355	3,072
特別利益	44	33
特別損失	—	59
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	2,399	3,046
法人税等	857	832
<b>四半期純利益</b>	1,542	2,214

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	742	5,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,824	△ 86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,450	△ 3,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	295	248
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,236	1,500
現金及び現金同等物の期首残高	21,612	14,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,376	16,081

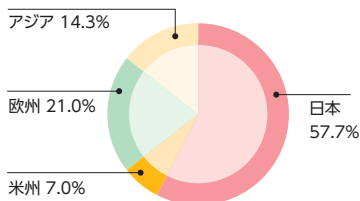
### POINT④ 売上高

前年同期で売上が10億4千9百万円増加しました。  
このうち為替影響額は7億2千4百万円でした。

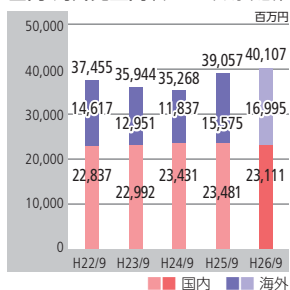
### POINT⑤ 販売費及び一般管理費

為替影響額や研究開発費が増加しました。

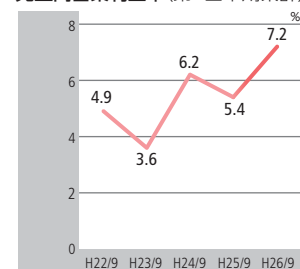
地域別売上高比率(当第2四半期累計)



国内・海外売上高(第2四半期累計)



売上高営業利益率(第2四半期累計)





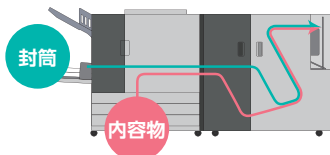
## オフィスの拡張機能

高速カラープリンター「オフィス」は、用途にあわせてオプションを接続することで様々な後加工に対応します。今回は「オフィス」の拡張機能の一部を紹介します。



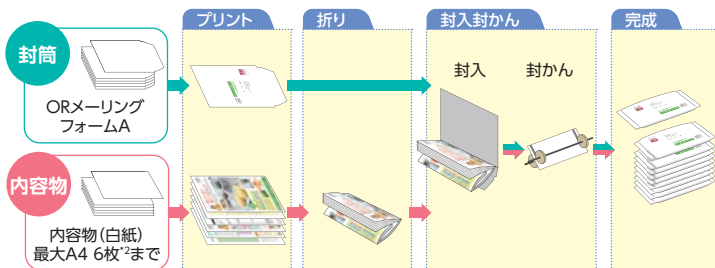
### 全自動処理で、送付物の封入封かん作業の負担を軽減

「ORマーキングフィニッシャー」は、プリント後の3つ折り、封入封かんまでを全自動で行う「オフィス」の排紙オプションです。例えば、学習塾での生徒たちの成績表の作成は、宛名と内容物の組み合わせに厳重なチェックが必要な時間がかかる作業。「ORマーキングフィニッシャー」を装備した「オフィス」は、宛名・内容物のプリントから3つ折り、封入封かんまでの工程を自動で処理し、作業の負担を軽減できます。



プリントから3つ折り、封入封かんまで、**成績表や請求書、ダイレクトメールなど1時間に約2,200通\***1、自動でできます。

\*1: オフィスEX9050の場合  
A4片面プリント1枚封入時



\*2: U用紙  
Eライト使用時

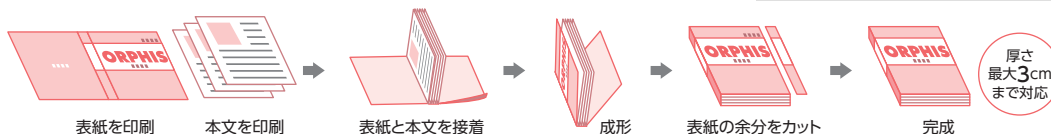
### 厚みのある冊子の製本をオフィスで手軽に

「ORくるみ製本フィニッシャー」は、厚みのある冊子のくるみ製本が全自動でできる「オフィス」の排紙オプションです。マニュアルやカタログなどのプリントから簡易製本まで誰でも簡単に仕上げられるため、従来外注していた製本作業がオフィスで手軽にできます。

フルカラーの**60ページ**のテキストなら**1時間で100冊**仕上がります。



#### ● ORくるみ製本フィニッシャーの処理加工の流れ







## 「リソグラフ」の上位シリーズを一新、世界各国で発売

当社は、デジタル印刷機「リソグラフ」の上位シリーズを一新し、本年5月より日本を皮切りに世界各国での販売を開始しました。国内では、2ドラム内蔵の「リソグラフMEシリーズ」4機種と、1ドラム内蔵の「リソグラフSEシリーズ」5機種をラインアップしています。

MEシリーズの最上位モデルの『リソグラフME935W』は、「両面ユニット」を搭載。2色プリントに加えて、A3サイズまでの高速両面プリントが可能です。

SEシリーズは、全機種に高速プリントモードを搭載。毎分最高185枚の業界最速（本年3月現在、当社調べ）のプリントスピードを8年ぶりに更新しました。

発売と同時に、国内外の様々なフェアやイベントへ出展しました。



「リソグラフME935W」



「リソグラフSE938F」

## タイの新工場が生産を開始

本年7月、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場で取引先関係者らを招き開所式が行われました。同工場は海外初の自社工場として4月に「リソグラフ」本体の生産を開始しました。

当社グループは、今後も世界180以上の国や地域のお客様へより良い製品・サービスを提供するため、生産体制を強化していきます。



RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.  
ロジャナ工場の生産ライン(タイ・アユタヤ県)

## 広島市内の豪雨災害への義援金寄付を実施

当社は、本年8月に発生した豪雨災害で甚大な被害を受けた広島市に対し、被災者支援と被災地復興のため100万円の義援金を寄付いたしました。

## 「環境経営報告書2014」を発行

当社は、本年7月に「環境経営報告書2014」を発行しました。

本年度版は、2013年度に行った活動成果を中心に簡潔にまとめ、理解しやすい報告を目指しました。特集では、「オルフィス」「リソグラフ」「ゴッコプロ」といった製品ごとの環境に関わる取り組みや技術について、図版や写真を使いながら分かりやすく紹介しました。

また、冊子として掲載できなかった情報及び過去から掲載している情報については、当社ホームページの環境経営報告書ページ(<http://www.riso.co.jp/eco/report/>)で提供しています。



「環境経営報告書2014」

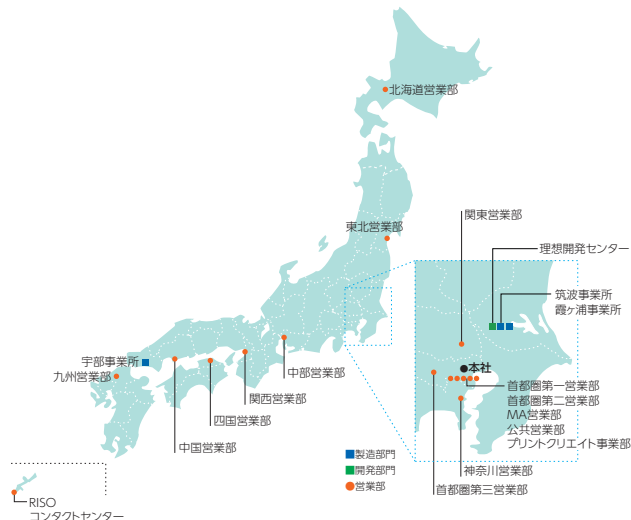


## 国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

国内3カ所の製造拠点では、オフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」に集約し、業務効率の向上を図り次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



## 海外

当社は24の海外子会社を中心に、オフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



### ● 海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO do Brasil Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.

- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO EURASIA UKRAINE LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業 (香港) 有限公司
- 理想工業 (深圳) 有限公司

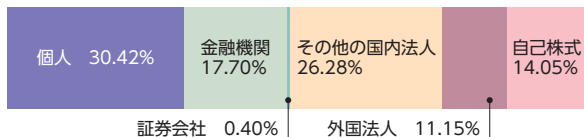
- 理想 (中国) 科学工業有限公司
- 理想 (上海) 印刷器材有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.



## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
発行済株式の総数	23,703,166株 (前期末比 増減なし)
株主数	2,249名 (前期末比445名 減少)

### 株式数比率



大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
理想科学工業株式会社	3,329	14.05
有限会社理想社	2,470	10.42
公益財団法人理想教育財団	1,330	5.61
あかつき興産株式会社	967	4.08
理想科学工業従業員持株会	951	4.01
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	783	3.31
羽山 明	611	2.58
羽山 治	597	2.52
羽山 尚	590	2.49
伊藤 眞理子	585	2.47

### 自己株式の取得について

当第2四半期累計期間中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	542,000株
取得価格	1,866百万円



## 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号	理想科学工業株式会社
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
創業	昭和21年(1946年)9月2日
会社設立	昭和30年(1955年)1月25日
資本金	14,114,985,384円
従業員数	1,754名(グループ全体 3,625名)
連結子会社	26社(国内2社 海外24社)
役員	代表取締役社長 羽山 明 常務取締役 高橋 靖宏 常務取締役 遠藤喜八郎 取締役 高橋 康信 取締役 池嶋 昭一 取締役 成宮 慶臣 取締役 上田 雅弘 取締役 橋本総一郎 取締役 氏家 直樹 取締役 加野 敏明 取締役 林 享史 取締役 奥 総一郎* 常勤監査役 山本研十郎 常勤監査役 田澤 康男 監査役 飯塚 良成* 監査役 八田 進二*

(注)\*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

### 将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	<a href="http://www.riso.co.jp/">http://www.riso.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

## 株主インフォメーション

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別  
口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の  
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申  
出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に  
お申出ください。



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、  
FSC®認証紙を使用しております。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。  
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 **理想科学工業株式会社**

本社／〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル